

# 互助通信



令和5年度 第2号 R6.1.29

教職員互助組合東豆支部 退職互助部

TEL 0557-37-3136

FAX 0557-37-5866

今年も元日早々、能登半島において大地震が発生し、多くの方々が被災されました。自然災害の容赦のなさには震える思いがします。関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて支部退職互助部は、コロナ感染症終息後を見据えて、次年度以降の新たな体制や活動を検討しています。事業アンケートにご回答いただいたり、理事会、地区委員会で話し合いを進めたりしてきました。今後、支部事業を目にした折には、参加等ご協力いただきますようお願い申し上げます。

以下、アンケートの結果です。

〈回 答 数〉	組合員数 648 人中、63 回答
〈「参加してもよい」との回答数〉	63 回答中、51 回答
〈希望事業に内訳（上位6種）〉	①観劇 30人 ②相撲観戦 27人 ③歌舞伎鑑賞 27人 ④落語鑑賞 23人 ⑤日帰り旅行 21人 ⑥音楽鑑賞 19人

上位の希望事業の中から、令和6年に実施する事業が、幹事会や地区委員会を経て決定されます。詳細は6月に全組合員に配布されるちらしや、互助新聞、HP（「静岡県教職員互助組合東豆支部」と入力）などをご覧ください。

## ○東豆教職員芸術展 R5.10/14（土）～16（月）

「第33回 東豆教職員芸術展」が、東豆教育会館大会議室で開催されました。今年度は、退職互助部から出品者数29人、作品数55点の参加がありました。現職の組合員の作品と合わせて展示された作品によって、会場は華やかな空気に包まれました。



## ○支部ウォーキング2「古都 鎌倉散策 14」 R5.11/2（木）

晴天のもと、北鎌倉の「円覚寺」「東慶寺」「浄智寺」を散策しました。今年も小川博孝氏がガイドを務めてくださいました。重要文化財を巡りながら、小川氏から説明を聞いたり、抹茶をいただいたりしながらの見学の様子は、支部だより「とうず」に詳細を記してあります。

- ・素晴らしい天気の中、時間的に余裕があり、ゆったりして気持ちで見学できてよかった。
- ・時間的にも距離的にも、ちょうどよく、気持ちのよい行程だった。  
(歩いた距離は約 6kmでした。)
- ・名ガイドの案内でとても楽しかった。



円覚寺山門にて

## ○確定申告 e-Tax 入力説明会 R6.1 / 23 (火)

熱海税務署の担当者の方をお呼びして（互助新聞令和5年度 12・1月号で案内）、互助退職部に新規加入された組合員様を中心に確定申告説明会を行いました。

e-Tax は、マイナンバー登録をされた方は、税務署に赴かなくても、スマートフォンを使って確定申告ができるシステムです。年末調整がお済みでも給与以外に収入がある時は確定申告の義務が生じる場合があります。

「ぜひ参加したい。」「関心がある。」方は、互助新聞令和6年度 12・1月号をご覧ください、次年度お申し込みください。

## 【重要】支部だより “とうず” 編集委員を募ります

令和5年度まで支部だよりの編集は、幹事会と事務局が編集委員となって行ってきました。しかしながら同じ方に毎年寄稿していただく傾向が表れ、裾野が広がっていかない状況が続きました。そこで、地区委員さんや組合員さんにも編集委員になっていただき、アイデアを頂戴し大勢の方に寄稿をお願いしてみようということになりました。編集作業は年に何度かのボランティア活動となりますが、現職時に培った力をぜひお貸しいただきたいと思えます。

募集人員数・若干名      期間・原則2年程度      募集方法・2月29日までに東豆支部に電話連絡する

### <お願い>

- ★スルガ銀行駅前店が、1月19日をもって、閉店されました。スルガ銀行支店からスルガ銀行伊東支店に通帳を変更した方は、初回のみ療養費請求を新口座名でご請求ください。
- ★療養費の連絡先電話番号には、直接つながる連絡先をご記入ください。
- ★支部だより「とうず」の活用について  
「とうず」には、裏面から左開きすると、療養費の請求用紙や人間ドック補助請求書、ボランティア活動支援申請書等の大切な用紙が入っています。1年間、お近くに置いていつでも活用できるよう、保存をお願いします。